

経営比較分析表（令和6年度決算）

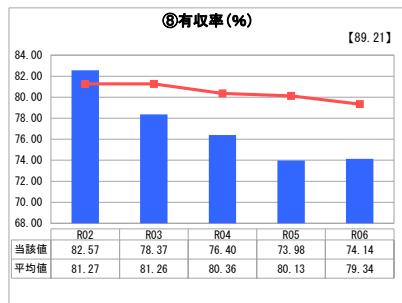
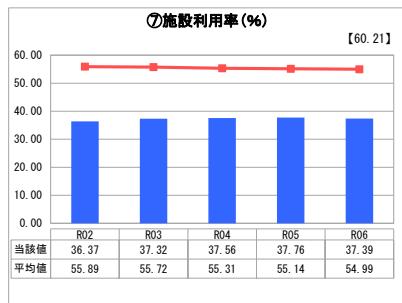
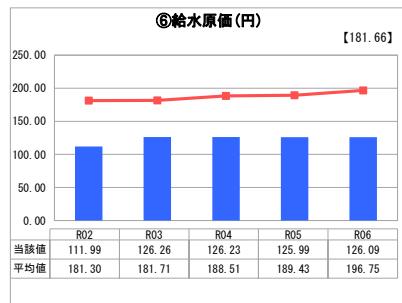
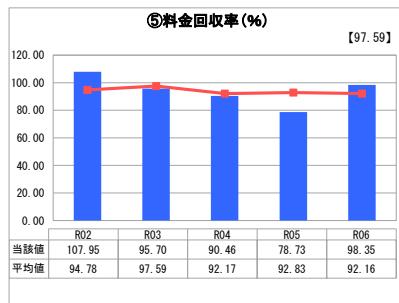
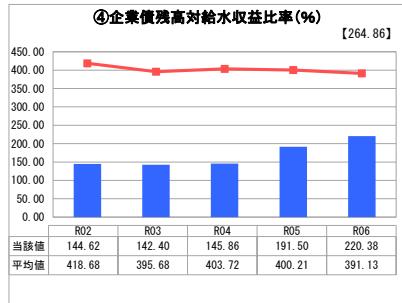
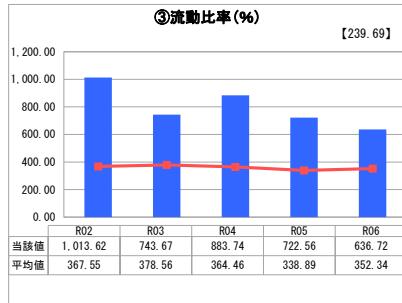
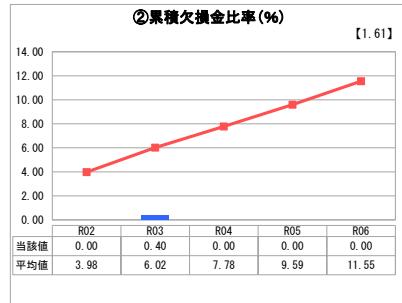
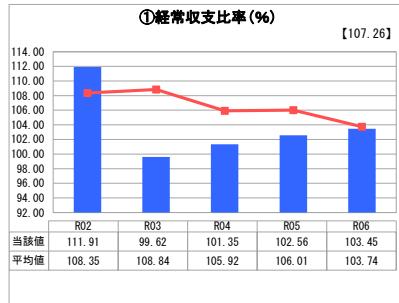
群馬県 沿田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	78.60	51.79	2,510	

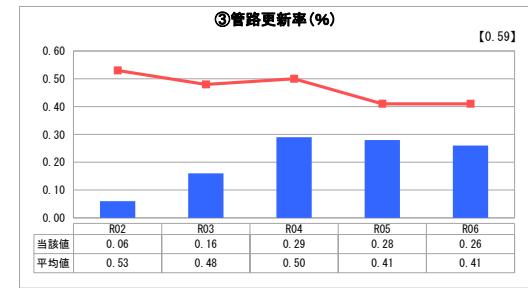
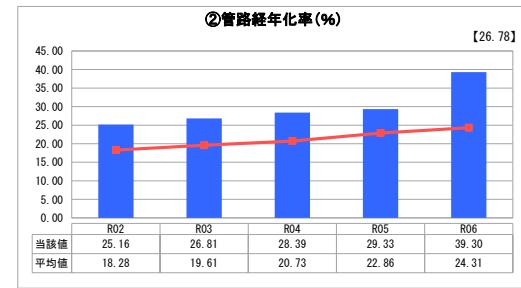
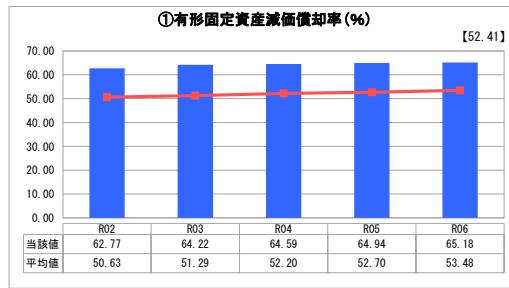
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
43,532	443.46	98.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
22,353	9.85	2,269.34

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



全体総括

本事業は、経常収支比率が100%を上回り、一定の経営の健全性を維持している。料金回収率について、令和6年度は水道料金本料金減免を実施していなかったため、給水収益が増加し料金回収率が回復したが、給水原価が類似団体と比較して低い水準にあることから、令和7年度より実施している水道料金改定を今後も継続的に実施し、計画的な経営を目指す。

また、有形固定資産減価償却率や管路経年化率の上昇から施設の老朽化が着々と進行しており、更新需要の増加が避けられない状況にある。

今後は、経営戦略の定期的な見直しを行っており、施設更新の優先順位付けや継続的な料金改定の実施が必要不可欠である。併せて、浄水場更新に向けたダウンサイジング等の検討事項及び維持管理の効率化についても検討を深めることが重要である。人口減少下においても、将来にわたり安全・安心な水道サービスを持続的に提供できるよう、健全性・効率性・老朽化対策を一貫的に捉えた経営改善に取り組んでいく。